

グローバルイングリッシュ I

科目ナンバリング ENG-307
選択 2単位

藤森 弘子

1. 授業の概要(ねらい)

CEFR(外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)の複言語・複文化主義に基づき、身近なことについて自分の考えを英語で互いに伝え合う力、すなわちコミュニケーション能力を養うことを目的とします。

2. 授業の到達目標

CEFRの複言語・複文化主義に基づき、日常生活で身近なトピックについて話すことから、個人の言語レパートリーを広げ、その個人を取り巻く社会の言語、他地域の言語へと興味が広がることを目指します。日常生活でのコミュニケーション力と認知能力のアップを目的に、4技能を総合して言語活動を行います。文法レベルはA1-A2レベル、語彙のレベルはA1-B2(CEFR-J)レベルです。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)参加度及び宿題・課題 40%
- (2)中間試験 30%
- (3)期末課題 30%

4. 教科書・参考文献

教科書

Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Framework English 金星堂2020(¥2,700.-)

5. 準備学修の内容

各ユニットの単語の意味や課題など、予習していただくを前提とします。

6. その他履修上の注意事項

対面授業の場合は、グループワークが多いので欠席しないようにしてください。オンライン授業でも対面授業でも、自分の意見や身近な体験などについて発表原稿を書いたものは、必ずLMSで提出するようにしてください。成績評価の対象になります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
Unit 1 自己紹介
- 【第2回】 Unit2 自分の特技発表
- 【第3回】 Unit 3 世界の料理
- 【第4回】 Unit 4 おすすめのレストラン／カフェ
- 【第5回】 Unit5 若者のファッション
- 【第6回】 Unit6 ファッションについての意見
- 【第7回】 Unit7 ライフスタイルと健康
- 【第8回】 Unit8 健康上の問題と解決法についての意見
- 【第9回】 中間試験とフィードバック
- 【第10回】 Unit9 世界の観光地
- 【第11回】 Unit10 私の旅行の思い出
- 【第12回】 Unit11 世界の国々のルール・サイン
- 【第13回】 Unit12 学校の規則について
- 【第14回】 Unit13 日本の有名な場所
- 【第15回】 期末課題と総括